『ありがとう』を胸に

『卒業にあたって』

3年1組　宮内　佳夏
（大阪市立横堤中学校卒）
奈良学園大学　保健医療学部
看護学科　進学

私は、中学生のころから看護学校に進学したいと思っていました。その時は、四年制大学、短期大学、専門学校のどれに絞るかはまだ決めていなかったので、できれば指定校推薦で進学したいという希望を持っていました。二年生の夏からオープンスクールなどに参加し、様々な学校のことが分かりました。その中で、行きたい学校が見つかりましたが、昨年度の指定校推薦の学校一覧をみると、希望の学校が入っていなくて指定校推薦での進学は諦めました。そこから、早朝の授業が始まる前や放課後の時間を使って本気で受験勉強を始めました。最初は基礎の復習をしていき、自分の身についていない部分があったので確実に自分のものにしていきました。三年生にあがると、週四日の講習が放課後に始まりました。中でも、英語が特に苦手で多くの先生に教えていただきました。その結果、公募制推薦入試で希望の大学に合格することが出来ました。たくさんの先生に教えていただいたり、友達に教えてもらったりしたおかげで合格できたのだと思います。

その感謝の気持ちを大切に大学でも頑張ります。そして、人の役に立つ看護師になります。本当にありがとうございました。

◆◆◆◆◆

『三年間を振り返って』

3年1組　北村　壮
（生駒市立光明中学校卒）
追手門学院大学　国際教養学部
アジア学科　進学

僕が、この高校生活三年間を振り返って、まず最初に感じることは、この学校を選んで良かったということです。

入学当初は不安で仕方がなかった学校生活もあっという間に三年が過ぎ、今は卒業が少し名残り惜しく感じられます。少人数のクラスでしたが、苦難や困難を共に乗り越え、支え合い、切磋琢磨しながら育んだ友情があり、クラスメイトには、感謝の気持ちでいっぱいです。特に文化祭や体育大会といった行事では、一組と二組は進学コースとして合同で臨み、少人数ならではの方法を試行錯誤し、クラスというより進学コース一丸となって成功させた時の喜びは忘れられません。

そして、僕たちの日々の学校生活を支えていただいたり、進路相談の際にご指導して下さった先生方にも、とても感謝しています。受験の際も、試験日間際まで、進路相談や過去問演習など、親身になってくださった先生方のおかげで、自分でも満足のいく進路決定ができたと思っています。

この三年間を振り返った文章を綴りながら、僕は改めてたくさんの人たちに支えられて生きているということを認識しました。この高校で過ごした日々は、僕の人生において忘れることのできない大切な経験となり、そして大切な宝物となりました。

『思い出を胸に』

3年2組　別府　美里
（大阪市立白鷺中学校卒）
京都教育大学　教育学部
教育学科　進学

桜が満開になる頃には、もうこの学校に来ることはなくなるのだと考えると、様々な思い出が蘇ってきます。入学式で「一つのことをやり抜きたい」との思いがあって入部した吹奏楽部では、夏休みも毎日のように登校し、遅くまで練習に励みました。私はこの部活から音楽だけでなく、礼儀作法や仲間の大切さなどを学びました。二年生の後半からは、部活と受験勉強の両立の大変さを知ることになりました。自分の進路への不安に押し潰されそうでしたが、必死になって勉強しました。第一志望の京都教育大学の合格通知を手にした時の感動は忘れることができません。

その他にも、北海道でキラキラした雪にはしゃいだ修学旅行や、初めて行くシンガポールで見るもの全てに胸が踊った異文化研修旅行、教室で他愛もない話をして笑いあった昼休み、入学式の時に膨らませた期待をはるかに上回るものを、金光藤蔭は与えてくれました。何よりも大切な思い出たちを胸に、大学でも目標を持ってしっかりと自分の足で歩いていきたいと思います。

◆◆◆◆◆

『成長』

3年2組　籠滝　篤
（大阪市立旭東中学校卒）
京都産業大学　経営学部
経営学科　進学

私の過ごした高校生活は、思い返せば楽しいことも辛いこともありました。その中でも、吹奏楽部の思い出がたくさんあります。特に、三年生として臨んだ最後の『たそがれコンサート』は印象深いです。日々の練習で辛い時期もありましたが、全員が協力して演奏を成功することができて、とても嬉しかったです。しかし何よりも嬉しかったのは、この時に後輩の成長する姿を見ることができたことです。

進路では、京都産業大学に合格しましたが、勉強は得意な方ではありませんでした。しかし、先生方は私にとって最善の方法を教えてくださり、合格することができました。大学では、今より忙しくなると思いますが、時々、後輩の顔を見に来たいと思います。

私は、金光藤蔭高校に入学し、大きく成長することができたと思います。大学に行っても高校生活で得たものを糧に、頑張っていこうと思います。

『高校生活で頑張ったこと』

3年3組　前田　沙矢加
（東大阪市立長栄中学校卒）
神戸電子専門学校
サウンドクリエイト科　進学

私がこの高校を選んだ理由は、ITライセンスコースでパソコン検定の勉強がしたいと思ったのと、制服が可愛くて着てみたいなと思ったからです。

ここで過ごした三年間を振り返って最後までやりきったことは、一度も欠席をせずに毎日元気に学校へ登校したことと、三年間部活を続けたことです。体調管理には気を付けていたので、あまり風邪をひきませんでした。また、私は軽音楽部に所属していて、ギターを弾いていたら時間を忘れてしまうぐらい楽しかったので、部活も三年間続けられたと思います。文化祭では全校生徒の前で演奏したり、高校生バンドフェス'15関西エリア決勝大会にも出場したりすることができました。思い通りにいかない時もありましたが、今から思い返すと良い思い出で、貴重な経験になったと思います。

この学校で学んだことを活かして今後も頑張っていきたいと思います。三年間ありがとうございました。

◆◆◆◆◆

『高校生活を振り返って』

3年3組　山元　楓夏
（藤井寺市立第三中学校卒）
大原スポーツ&
メディカルヘルス専門学校
メディカル事務学科
薬局事務コース　進学

私が高校三年間を振り返って頑張ったと思えることは、学校の勉強にしっかりと取り組んだということです。

高校に入学した時は、三年後にきちんと卒業して進学出来るかとても心配でした。一年生の最初の授業は中学校の復習から始まり、また授業中に分からないところが出てきても、授業担当の先生に丁寧に教えてもらうことができたので、とても安心しました。

進路については大学へ進学しようと考えていましたが、最初から大学だけに絞るのではなく、専門学校のオープンキャンパスに参加したり、幅広く色々な学校を見たりして、私に合う学校を探していました。なかなか納得のいくような学科が見つからなくてずっと悩んでいましたが、色々な学校を調べていくうちに医療事務系に興味を持ち、学びたいと思い専門学校へ進学することに決めました。合格出来たときは嬉しかったです。

三年間、学業面だけでなく、色々な行事など、楽しい事も沢山あって充実した高校生活を過ごす事ができました。ありがとうございました。高校を卒業してからも頑張っていきたいと思います。

『甘かった自分』

3年4組　成本　靖也
（堺市立日置荘中学校卒）
大阪こども専門学校
こども総合学科・こども心理コース　進学

三学期のホームルームで担任の先生がクラスの生徒を一人ひとり呼び出して話をしました。私は四月から大阪こども専門学校に進学することになっているので、先生が、大阪こども専門学校のことを、色々話してくれました。どうやら自分が想像していた学校とまったく違うイメージでした。「ものすごく厳しい学校だぞ？ちゃんと付いていけるか？」と先生が心配してくれていました。また、大阪こども専門学校に進学した先輩の一人は一年も経たない内に辞めてしまったという話も聞きました。理由は「厳しい学校生活」だったようです。

この話を聞くまでは専門学校のことを安易に考えていました。楽しい学校生活を送って将来は保育士になる、ぐらいにしか考えていませんでしたが、よく考えたら先生と呼ばれる職業に簡単に就くことができるはずもありません。先生の話を伺って心が引き締まった思いでした。進学後は、精一杯努力し、学校を途中で辞めることだけは絶対にないようにしようと決意を新たにしました。

そして、勉強とアルバイトを両立させたいと思っています。両立は厳しいかも知れませんが、全力でこなし、専門学校を卒業後は良い保育士になれるよう頑張りたいと思います。

◆◆◆◆◆

『将来の目標』

3年4組　西田　行伸
（大阪市立大正中央中学校卒）
大阪保健福祉専門学校
社会福祉科　進学

私は関西福祉大学金光藤蔭高等学校を卒業後、大阪保健福祉専門学校の社会福祉科で四年間、福祉の勉強を学びます。そして、社会福祉士の資格を取得することを一番の目標としています。なぜなら社会福祉士は日本全国でもまだまだ取得者が少なく、取得することで介護の世界ではこれからより求められる人材になれると考えているからです。そのため、四年後には社会福祉士の資格を取得して、社会に貢献できるようになりたいと考えています。次に、私はこの四年を知識だけではなく、現場でのスキルも身に付けたいと考えています。あまり知られていないですが、福祉の仕事は肉体的にも精神的にもかなりきつい仕事です。社会に出て、現場経験がない私に、福祉の仕事が務まるとは考えられません。そのため、私はこの四年で現場経験も積み、いざ福祉の現場で働くことになっても困らないようにしたいと考えています。

このように、将来は高齢者や障害者の方々のために働きたいと考えていますが、高齢者や障害者の方々の中にはまだまだ施設に入れなかったり、サービスを受けられずに、やむを得ず不法な施設を利用する方が最近多いとニュースでも取り上げられています。すべての高齢者の方や障害者の方に合法で安心して気軽にサービスを受けてもらいたいので、人に優しい社会福祉士になれるように頑張りたいと思います。